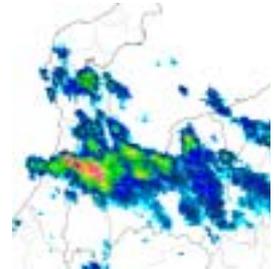




特集: 7.21 豪雨災害

7月20日昼過ぎから21日にかけて断続的に激しい雨が降り、高岡市淵ヶ谷で80mm/h (7月21日3時~4時)、高岡市赤祖父で162mm/3h (7月21日3時~5時) を記録しました。この豪雨により、市内の広い範囲で浸水被害や土砂災害が発生し、市では、土砂災害の危険性が高まった地域に避難勧告を発令しました。

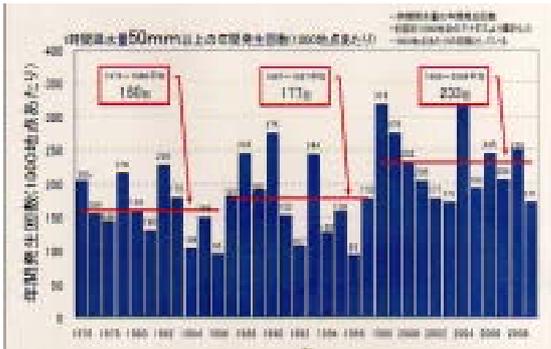
今回の災害は、深夜に大雨警報などが発表され、直後に非常に強い雨が降ったため、短時間で被害が拡大したという特徴がありました。



レーダー合成図 21 日 03 時 20 分

- 【主な被害】住家被害 床上浸水 79 棟 床下浸水 430 棟、土砂崩れ 41 箇所、道路通行止 20 路線等
 - 【避難勧告】福岡町西明寺・下向田地区の 7 世帯 17 人：避難所 木楽館、アルテン赤丸 (福祉避難所)
- (7月21日14時15分発令→22日15時00分一部解除→26日17時00分解除)

全国的な大雨の傾向



気象庁のアメダス (地域気象観測所) の統計資料で大雨の年間観測回数を見ると、1時間50mm以上の回数が増加しており、また、1時間80mm以上や日降水量400mm以上の回数も増加傾向にあります。

もともと雨の多い日本列島ですが、近年、集中豪雨や局地的な大雨 (いわゆる「ゲリラ豪雨」) など、短時間に集中して降る大雨が増える傾向にあることが分かりました。

(左図) 1時間降水量が50mm以上となった年間回数

大雨への対応

初動対応は、情報収集が重要です。まず、気象台が発表する注意報・警報などの防災気象情報に注意しましょう。防災気象情報と市の対応や住民の行動は、一般的には右図のとおりです。

気象警報は、原則、市町村単位で発表され、大雨警報の場合は「大雨警報 (浸水害)」「大雨警報 (土砂災害)」のように示されます。

なお、市が避難勧告や避難指示を発令する場合は、防災気象情報の他、河川の水位情報やパトロールなどで把握した現地状況なども勘案し、対象範囲などを決めることとしています。

高岡市の区域の発表基準

大雨警報 (浸水害)	雨量基準 平地地 3 時間雨量 100mm、平地地以外 1 時間雨量 60mm
大雨警報 (土砂災害害)	土壌雨量指数 115
大雨注意報	雨量基準 平地地 3 時間雨量 50mm、平地地以外 1 時間雨量 30mm、土壌雨量指数 86



数年に一度の猛烈な雨が観測された場合には「記録的短時間大雨情報」が発表されます。
土砂災害警戒情報は気象庁と国土院の共同発表です。

気象庁の防災情報の他、降雨状況や河川の水位情報などをリアルタイムで提供される最新情報を確認することも大事です。また、突然の大雨には、家庭にある身近なもので浸水を防止する方法が有効です。

今回は、国土交通省が試験運用している **XRAIN**（エックスレイン）や自主防災組織が行う簡易水防工法などを紹介します。

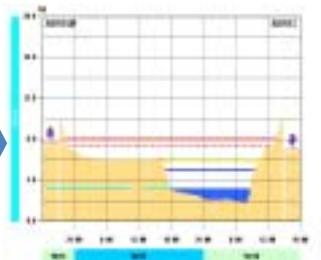
XRAIN（XバンドMPレーダー） 近年増加する集中豪雨や局所的な大雨（いわゆるゲリラ豪雨）による水害や土砂災害に対し、国土交通省が河川管理や防災活動などに役立てるため整備している情報です。従来の広域レーダに加え、より早くより詳細に観測しています。

<http://www.river.go.jp/xbandradar/>



川の防災情報 庄川、小矢部川、千保川、祖父川、岸渡川の水位観測所の情報や雨量情報を10分間隔で見ることができます。携帯版もあるので、外出時などは携帯電話を使って確認できます。

<http://www.river.go.jp/> <http://i.river.go.jp/> 【携帯版】



富山県土砂災害警戒情報システム 土砂災害危険度が注意・警戒・嚴重警戒のランク別に表示されます。動画開始ボタンをクリックすると土砂災害危険度の数時間後の予測を閲覧できます。土砂災害警戒情報などのメール配信サービスもありますので一度ご覧ください。

<http://www.sabo.pref.toyama.lg.jp/>



簡易水防工法 プランター、段ボール、レジャーシートなど家庭にあるものを使って家屋への浸水を防ぐ工法です。市街地では土のう袋に詰める砂や土がないので、水で膨らむ吸水土のうも有効です。簡易水防をするときは、玄関などの出入口のほか、床下への対処も大事です。これらの訓練の様子は、先進事例で紹介しています。



水中歩行訓練 浸水してから屋外へ避難するのは危険が伴いますが、河川の氾濫でどうしても水中を歩かなければならなくなった時の訓練です。長靴やサンダルを履いて歩きにくさを体験したり、棒を杖代わりにして水中の障害物に注意します。また、はぐれないようにお互いの体をロープで結んで避難します。平成23年度高岡市総合防災訓練で、野村小のプールを使って実施しました。



浸水対策事業を実施します！

今回の豪雨災害を受け、市では、自主防災組織が行う浸水対策に対する次の2つの支援を行います。具体的な内容は、自主防災相談室（20-1325）までお問い合わせください。

1 緊急浸水対策事業

補助内容：7月20日から21日にかけての大雨に伴う市の「り災調査」で被害を確認した家屋を区域に含む自主防災組織を対象に、吸水土のう、止水板及び排水ポンプ等の浸水対策資機材費を補助します。

補助内容：上限額20万円・補助率100%

2 排水用ポンプ貸出事業

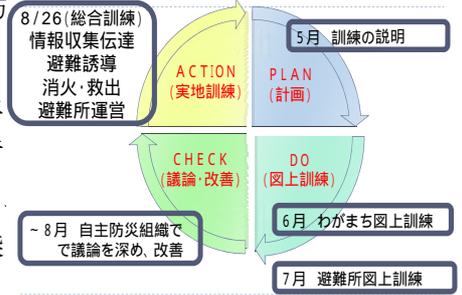
貸出内容：災害時や水防訓練などに際し、市が保有する小型排水用ポンプとホースを貸し出します。

備蓄場所（台数）：本庁舎（7台）、福岡防災センター（3台）

1 | 総合防災訓練を実施！

8月26日（日）博労小、木津小、南条小、石堤小をメイン会場に総合防災訓練を実施しました。この訓練に先立ち各校下連合自治会の皆さんと、6月に避難図上訓練（一時避難場所や避難路の設定）、7月に避難所運営図上訓練（避難所の利用計画や生活ルールの作成）を行いました。図上訓練を行うことで、自分達の住む町の危険箇所を確認し安全な避難経路を検討したり、避難所の開設や運営上の課題について学校の先生方と一緒に考えるなど、深く考える内容の濃い訓練ができたのではないかと感じています。

わがまち訓練の進め方



また、防災行政無線を活用した土砂災害対応訓練、障害者福祉施設での避難訓練や福祉避難所の開設・運営訓練を行うなど、それぞれの地域の特性に応じた実践的な訓練を行いました。陸上自衛隊、赤十字奉仕団などの防災関係機関のみなさんは、自主防災組織や自治会など地域住民が行う訓練のサポートや啓発活動を行いました。

今回の訓練の成果や課題が、地域防災力向上のための更なるステップに繋がることを期待しています。



2 | 高岡市地域防災計画(震災・津波対策編)を改定！

9月27日（火）高岡市防災会議を開催し、高岡市地域防災計画の震災編を改訂しました。今回の改定では、東日本大震災の教訓や県が公表した呉羽山断層帯の地震被害想定調査（H23.6）及び津波シミュレーション調査（H24.3）の結果を受け、震災対策と津波対策を強化するものです。

今後は、計画に基づき、津波ハザードマップの作成や海拔表示看板の設置等を行うとともに市民の皆さんと連携した防災訓練の実施など様々な取り組みを実施します。

地域防災計画とは？

次の事業に取り組みます！！

市民の生命、身体および財産を災害から守ることを目的とし、災害予防、災害応急対策、災害復旧復興について、市、防災関係機関などで構成する高岡市防災会議が作成する計画です。必要に応じ、毎年修正しています。

この計画は、下記の6編で構成しています。

- 自助・共助の充実による減災対策（校下連絡協議会の結成促進、防災リーダーの育成）
- 防災教育の充実（防災に対する姿勢を身につけるための防災教育・訓練の継続実施）
- 実践的な訓練の実施（総合防災訓練における住民主体の「わがまち訓練」の実施）
- 情報伝達手段の強化（防災行政無線、メール、ツイッター等）
- 津波対策の充実（津波ハザードマップの作成、津波避難ビルの指定、海拔表示看板の設置、津波対策資機材の整備支援）
- 耐震診断・耐震補強・耐震シェルター等への助成）
- 災害備蓄の強化（流通備蓄の活用、災害備蓄の強化校への備蓄の推進）

高岡市地域防災計画

- 基本編
- 風水害・土砂災害・火災編
- 震災編→震災・津波対策編**
- 雪害編
- 原子力災害対策編
- 資料編

今回の見直し箇所

先進事例を紹介します！

先進事例がラジオで紹介されました！

9月6日富山民放ラジオ7局共同企画防災スペシャル2012「富山で災害！そのときに備える」が放送され、高岡市からも自主防災組織の先進事例として「夜間訓練」「小型防災倉庫」「防災井戸」の紹介や東二塚自主防災会の登坂会長によるクロスロードゲームの実演がありました。番組を制作されたKNBラジオ放送本部の柴田明夫さんは、「クロスロードゲームはスタジオ内で盛り上がった。リスナーから『おもしろい』『勉強になる』との反応もあった。工夫することを楽しんだり、ゲーム性を持たせることで防災活動に参加しやすい環境を作っているのは興味深い。」とのことでした。また、「ラジオの特徴は、パーソナリティとリスナーとの対峙。東日本大震災ではリスナーのために何ができるかを考え、自分たちができる支援活動や寄り添うことの大切さを繰り返し伝えた。これからは「防災」を日頃からの身近な問題として取り扱って欲しい。」とされました。



野村校下連絡協議会

8月18日(土)野村校下自主防災組織連絡協議会による防災訓練が実施されました。

参加した自主防災組織の中には、町内の中にある農業用水を利用したバケツリレー、消防団の使う高圧的を使い軒下の火を消す訓練など独自の取組みを行われました。

野村小学校に避難後は、心肺蘇生、応急救護、初期消火及び煙中体験のほか、東日本大震災のパネル展示なども行いました。



お知らせ(研修・講演会等のご案内など)

秋から冬にかけて開催される研修会などの予定をお知らせします。詳細な日程等が決まりましたら、市ホームページでお知らせします。申し込み方法など詳しくは、総務課危機管理室にお問い合わせください。

自主防災リーダー研修

自主防災組織を結成しこれから活動を始める団体の方を対象に、専門講師が活動方法を説明したり図上訓練の指導を行います。

日時・場所：平成24年12月8日(土)午後：高岡商工会議所(予定)

防災気象講演会

毎年、富山地方气象台、県などが主催し、学識者の専門的な説明や実際に災害を経験した防災機関の方などがスライドを使って講演されます。昨年度は、京都大学防災研究所の川崎名誉教授が富山平野の地震・津波などについて講演されました。日頃聞けない専門的な話などが聞けるので、防災に関心を深める機会としてご利用ください。今年度は、年明けに予定されていますが場所等は未定です。

防災訓練実施時に災害備蓄品を提供します。

市が災害用に備蓄する飲料水(1.5ℓペットボトル・5年保存)の入れ替えに合わせ、25年2月に保存期限が来る飲料水を提供します。なくなり次第終了しますので、ご希望の方はお早めにお知らせください。

自主防災連絡協議会ニュース編集部：高岡市総務部総務課危機管理室

電話 | 20-1229 FAX | 20-1325 <http://www.city.takaoka.toyama.jp/somu/0301/kikikanri/kikikanri.html>

高岡市 危機管理室

検索

ポチッ